

〈広報〉  
第21号  
平成29年  
6月20日

# 青山小学校区 コミ協だより

Comi-Kyo-DAYORI in Aoyama elementary school district

青山小学校区  
コミュニティ  
協議会  
新潟市西区青山6-16-20  
☎025 (233) 2990



**初夏、カラフル。花文字鮮やか。**



目黒嗣樹 所長   笠原明夢 西区長   中藤榮子 会長

「西区 セキヤ分水」—初夏の日差しの中、5月20日、新潟市浦山の関屋分水路左岸で「一斉清掃・花文字花壇づくり」（青山小学校区コミ協主催）が行われ、地元住民約200人が作業に汗を流しました。ペゴニア、サルビアの花を組み合わせ、花文字の美化活動について、「誇りに思います」と祝意を述べました。

花文字植栽の後には、ゴミを拾いながら青山海浜公園へ。心地良い浜風の中、育成部が丹精込めて作った豚汁とおにぎりで昼食を堪能しました。

## 青山小学校区コミュニティ協議会



皇太子殿下がヤマザクラを記念植樹、すぐ後でスタジイを植える相馬哲副会長

# 関屋分水「花文字」が国土交通大臣表彰

第二十八回「みどりの愛護」のつどいが六月十日、金沢市の兼六園周辺文化の森各会場で開かれました。つどいに臨席された皇太子殿下が「おこ」とばで「日ごろのたゆまぬ活動に敬意を表します」と表彰団体の地域の緑化と環境美化活動をたたえ、みどりの愛護の輪の広がりの期待を述べられました。「みどりの愛護」は全国の緑化や環境美化に取り組み、実績をあげている団体を国交省が表彰する制度で平成二年に始まりました。今年度は全国百三十三団体、本県からは青山コミュニティ協議会（中藤榮子会長）ほか、長岡市、見附市を含む三団体が受賞しました。表彰理由は、青山コミ協が毎年初夏に取り組んでいる

「花文字」の植栽事業です。西区の関屋分水左岸にペゴニア、サルビアなどの花々を組み合わせてつくる花文字「西区 セキヤ分水」、花文字づくりには地区住民約二百人が参加、分水堤防の緑化と環境美化、住民の連帯感が評価されました。

十日の金沢市のつどいにはコミ協の相馬哲副会長が特別招待者、平賀巳代治、越村正美両氏が一般招待者として参加しました。相馬副会長は記念植樹で皇太子殿下と隣接する位置でスタジイの常緑樹を植樹しました。

会場周辺にはブルー、ピンクなどの鉢植えのアジサイが並び、全国からの参加者を迎えてくれました。



平成二十九年 度

# 青山小学校区コミュニティ協議会総会



青山小学校区コミュニティ協議会の平成二十九年 度総会が六月十一日に開かれ、有明、浦山両地区から構成員ら四十数人が出席、事業計画と予算や当面の課題について意見交換しました。

中藤会長から、総会の前日に金沢市兼六園周辺文化の森で実施された第二十八回全国「みどりの愛護」のついで、功労者国土交通大臣賞表彰受賞団体百三十三団体に選ばれ、感謝状の授与と皇太子殿下とともに植樹祭に参加したことが報告されました。



## “花文字”大臣表彰 一層の活動を誓う

### 青山小学校区コミュニティ協議会役員

役職	氏名	所属
会長	中藤 榮子	
副会長	村井 良次	有明地区自治協議会
副会長	相馬 哲	浦山地区自治協議会
総務部会長	田中 米三	有明地区自治協議会
環境安全部会長	田嶋 豊信	浦山地区自治協議会
文化スポーツ部会長	矢口 弘	スポーツ振興会
福祉部会長	渡部 妙子	

新年度の主な事業計画については、この受賞のもとになった関屋分水の緑の保全と清掃活動、ふれあいの集い、福祉支援事業などを承認し、この各事業を浦山・有明自治協と連携し、幅広く展開していくことを確認しました。  
総会の前に開かれた恒例の区政懇談会では、地域の課題について冬期通学路の道路除雪、飛び出し危険が予想される交差点の信号設置など、西区の笠原明夢区長ら担当幹部と腹を割って意見交換し、地域と行政による協働の市政を進めていくことを確認しました。

有明地区自治協議会  
は四月二十二日、青山  
コミハウスで平成二十九年  
度の自治協議会を開催しまし  
た。有明地区、八つの自治会から十  
五人、来賓として中藤コミ協会長、  
渡部コミ協福祉部長、民生児童委  
員、主任児童委員の計二十三人が  
出席しました。



新年度の事業は、有明ふれあい  
夏祭り(八月十九日)、総合防災訓  
練(九月九日)、有明ふれあいの集  
い(九月十九日)、有明お茶の間  
「らっくり」(月一回第一水曜日)の

浦山地区自治協議会は平成二  
十九年度定期総会を四月二十三日  
開き、新年度事業計画を決め  
たほか、中央区で自治会  
長が交代しました。  
新年度主要事業は

# 有明

開催。高齢者一人暮  
らし世帯等への友愛  
訪問事業の継続などを  
決めました。

有明地区地区自治協は、青山西  
打越自治会長、小針松美台佐々木  
自治会長、松美台第一田中自治会  
長、西有明町第二村井自治会長、西  
有明町第二丸山自治会長、今年新  
しく就任した青山三区鈴木自治  
会長、松美台第二本間自治会長、  
ネオハイツ有明明田川自治会長で  
役員を構成しています。

## 平成29年度 自治協議会総会

九月の防災訓練(九日)とふれあいの集い(二十五日)、隣接地区と一緒  
に実施する関屋分水の「花文字」  
作業、信濃川クリーン作戦など環  
境美化の活動に取り組むことを決  
めた。

中央区の武田統雄自治会長の退  
任のあいさつの後、新しく就任する  
内山雅栄氏が「住民のニーズをしつ  
かり受け、地域の安全・安心のた  
め、新しい視点で自治会活動  
に取り組んでいきたい」と  
と決意を述べた。

# 浦山

Urayama

平成  
29年度

青山コミュニティハウス

管理運営委員会総会

平成二十九年度の青山コミュニティハウス管理運営委員会総会が四月十四日開かれ、新年度の事業計画と二部交代する委員会構成メンバーを決めました。

新年度の主要事業はハウス最大事業の文化祭の日程を十月二十日から二十二日までの三日間とし、作品展の出展グループが年々減少していることについて、新規グループの勧誘に積極的に取り組んでいくことを確認しました。同ハウ

ハウスの利用率6割へ

スの利用率は約六割、行政側から高い利用率の評価がありました。

西区区長には新しく笠原明夢氏が就任、あいさつで青山コミ協地区の団結、連帯感に触れ、関屋分水堤防の花文字植栽事業が国土交通大臣表彰に決まったことが報告されました。

運営委員の理事が一部交代しました。浦山商店会の高橋長栄会長、松美台第二の本間達也自治会長が新しく理事に就任しました。



平成29年度  
利用者団体代表懇談会



青山コミュニティハウスを利用している団体の代表者とコミュニティハウス管理運営委員会役員・施設管理者との懇談会が五月十四日に開かれました。

日曜日にもかかわらず十九団体の代表者が出席し、日頃のサークル活動の近況報告があり、次いで施設管理者側から昨年度の利用状況・事業収支報告・施設面については、かねてから要望がありましたトイレのバリアフリー化の改修工事と駐車場スペースを確保するための工事完了の報告。また、今年度の事業計画・予算案についての説明の後、安全・快適に利用するために代表者から施設側に出された要望をめぐって活発な意見交換をしました。利用団体・施設側双方の課題を確認、最後に消防避難訓練を実施し、会議を終了しました。

中越大震災を伝える施設巡り  
震災の記憶と記録に触れて

中越大震災（平成十六年十月二十三日）の復興状況を視察するため、三月四日、現地のメモリアル拠点である施設を巡ってきました。母娘が犠牲となり、二歳の男の子が九十二時間後、奇跡的に救出された妙見町の土砂崩落現場はテレビ放映で今でも鮮明に脳裏に焼き付いています。

新潟市西区が企画、総勢六十九人が参加、浦山地区自治協からは浦山四区の秋山和美自治会長、リバーハイツ関分の平賀巳代治自治会長の二人。長岡市「きおくみらい」、山古志地区「おらたる」、小千谷市「そなえ館」の三施設を巡り、震災の記憶と記録に触れてきました。「きおくみらい」ではシアターで記録映像を見て、地震災害のすさまじさを再認識し、「おらたる」では施設職員から全村避難をめぐる生々しい話を聞きました。



「中越メモリアル回廊推進協議会」発行パンフレットより



職員が生々しい話にも目を白黒させながら聞く参加者たち

「そなえ館」では地区が協力し、結束して避難した体験談を地区のリーダーから伺い、「災害は忘れたころにやってくる」の教訓をかみしめて帰ってきました。

**はじめまして!**  
**新しい管理人**  
**岩崎俊二です。**

前任の越村さんに代わり、4月より勤務となりました。

はじめは不慣れにより緊張しましたが、最近はずいぶん慣れてきました。



コミハウス利用者の皆さまに、より満足していただけるよう、努力してまいりますので宜しくお願いします。

私の趣味は、オートバイのレストア(再生)作業と、ツーリング、魚釣り、スキndaイビング(海での潜水)、園芸(ガーデニング)です。季節が良くなり、天気の良い日は色々やりたいことをしようか悩みます。

特に最近はおバイのレストア(再生)作業にはまっています。同じ趣味の方がいましたら、声をかけてください。



**中学生と共に考える**  
**コミュニティ交流会**



青山小学校区コミュニティ協議会福祉部主催の、地域のリーダーと中学生との意見交換会が三月十七日に開かれました。

地域役員十一人と関屋・小針中学校から生徒各三人が引率の教諭、地域教育コーディネーターなど事務局合わせて二十四人が参加しました。コミュニティ協議会が地域の自治・社会教育活動の内容について説明した後、中学生が

ら地域の印象や平日頃感じている事について発言してもらいました。中学生は「自分たちが地域のために何ができるか」、地域の役員からは「中学生と一緒にできる行事はないか」など話は盛り上がり、役員は中学生の意欲的な発言にすつかり感心していました。お互い普段あまり繋がりの無かった事を再確認、これからの地域の活性化について考える良い機会となりました。

**浦山地区自主防災会総会**

5月13日、青山コミュニティハウスにて、「平成29年度 浦山地区自主防災会総会」が開催されました。相馬会長の挨拶から始まり、田嶋副会長の司会・進行のもと、平成28年度の事業報告、決算報告及び会計監査報告があり、無事満場一致で承認されました。

今年度の事業計画では、昨年9月に実施されました「第10回浦山地区自主防災訓練」をもとに、当地区の皆さまに、もっと防災意識と隣保協同意識を高めていただきたく、役員からは熱い意見が交わされ、今年度の防災訓練の運営方法、実施内容について議論いたしました。

今年の自主防災訓練は9月9日に実施することを決め、訓練内容についてさらに役員一丸となって取り組んでまいります。



平成二十九年度  
**自主防災会総会**

**有明地区自主防災会総会**

自主防災会総会は4月22日、自治協総会に続いて開催しました。

昨年9月24日に実施した防災訓練は、青山小学校との合同訓練で開催し、参加者は431人でした。地震津波避難訓練(自治会指定一時避難所避難)、指定避難所集団避難訓練、津波避難時大声訓練、学童防災学習発表、学童防災標語披露、初期消火訓練、災害時の食事づくり、炊出し訓練等を実施しました。

今年は、防災訓練を浦山地区や青山小学校と同じ日の9月9日に実施することを決めました。今後青山小育成協議会、青山民生児童委員協議会と話し合いをして、児童や高齢者と共によりよい訓練になることとしました。

松美台第一自治会の田中会長が、防災士の資格をとりました。今後の活躍に期待します。